2021年度　第1回運営委員会議事録

■　日　　時　：　2021年4月19日（月）　14：00～15：45
■　場　　所　：　サプリ村野　環境保全研修室
■　出席者　　：　市山、阪口、末岡、丸井、宮村、大倉（枚方市）
■　欠席者　　：　伊丹、豊高、阪本、事務局
■　議　　長　：　丸井　　　　　　　■議事録作成　：　丸井
■　配布資料：　・環境教育部会4月度定例会報告
　　　　　　　　・4月度事務局報告
　　　　　　　　・理事会議案書

1．報告事項

①事務局報告

・会員は加入もあったが脱退もあり、会員数の純増は0で変わらない
・大阪府の公民協定事業である「太陽光発電設備の設置による地域環境活動の推進事業」において環境ネットワーク会議がその設置者となった。

②プロジェクトチーム・部会報告

◆地球温暖化防止対策推進チーム報告

・エコ宣言の報告リーフレットの最終確認を行った。6月に配布予定。
・ごみ減量推進事業の第3弾として「プラごみダイエット」に続く「プラスチックの～を○○の～に変えました」(仮称)の取り組みを進める計画をしている。
・エコノートの報告書については「報告書」とは別に、報告書を兼ねたPRに重点を置いたリーフレットを作成する方向で進めている。

◆S-EMSプロジェクトチーム報告

・3月末に最終報告書をイーズに提出した。特段問題はないようなので、後期の委託費も支払われる見込みである。
・これをもってS-EMS支援委託事業は終了した。

◆環境教育部会

・議事録通り。
・今年度もプログラム冊子と共に、出前授業活用のお願いの案内を送付する。
・くらわんか塾は9月に実施予定

◆公共交通部会

・バススタンプラリーを事業計画に記載のような形で実施予定をしているが、京阪バスからの協力の返事待ちといった状況である。

◆自然エネルギー部会

・先般、今年度の事業計画について話し合い、計画書に記載のような事業を考えている。

◆まちづくり部会

・現在、活動は休止中であるが、今年度の事業計画について計画書に記載のような事業を考えている。
・部会員がそれぞれ諸事情を抱えて動きがままならない状況である。市山さんに部会長として頑張ってもらえないだろうか。
　⇒　検討する

２．協議事項

◆理事会議案について

・事務局より提示された議案について確認した。

＜1 号議案について＞

・運営委員の人員補強を考えてほしい。

20 名以下との規定はあるが、何名以上という規定はない。しかし現在の陣容では欠席等があれば非常に少ない人数での話し合いとなり、議論が深まらない可能性もある。できれば 12 名程度の人数になればと考えている

⇒今年度の運営委員候補者は提案通りとした。

＜2 号議案について＞

・公共交通部会の事業に漏れがあり加筆することを確認。

・教育部会の出前授業実績について間違いの指摘があり修正することを確認

＜3 号議案について＞

・財産目録の「(うちピコ発電分)」という表記はわかりづらく、前「おひさま発電基金」改めということがわかるようにしたらどうか

⇒「自然エネルギー普及啓発基金」の名称に変更し報告書通り確認

＜4 号議案について＞

・エコフォーラムについて、今年度どのような形でできるのかとの質問が出された。

⇒　エコフォーラムの目的等、考え方については従来通りとするが、今年度の開催形態や開催場所等について、具体化に向け早急に話し合っていいかなければならないと考えている。

⇒　場所は未定と変更

・こもれび水路プロジェクト事業の予算額及び支出見込み額に、￥35, 000 を加筆

・街づくり推進事業の予算額及び支出見込み額に、￥10, 000 を加筆

＜5 号議案について＞

・環境教育支援事業の収入金額を 89,800 円(@2,245 円×4 人×10 回)に修正

・支出のところで、自然エネルギー普及啓発事業の予算に 35,000 円を、まちづくり推進事業の予算に 10,000 円をそれぞれ加筆。環境教育支援事業の予算は 270,000 円に修正。

・S-EMS 支援事業の項目は削除

以上 1 号議案から 5 号議案まで加筆修正を行い理事会に上程することを確認した。

3. その他

・退職したパート職員のかわりの採用はしないのか

⇒　環境ネットの職員として従事してもらうにあたて、適正能力を持つ人材を見つけるのがなかなか難しい。

・「しかし現在の 2 人体制では何かあった時に事務局が回っていかないのでは」等、職員採用の必要性について様々な意見が出された。

⇒新規職員採用に向け進めることで合意

次回運営委員会　・・・　未定(6 月総会時に決める)